

研修医 2 年目の中堀です。僕は外科系専門プログラム(旧第一外科)の専攻で、研修医 1 年目の 2014 年 4 月～6 月は大学病院で、2014 年 7 月～2015 年 6 月は福井県済生会病院で研修を行い、今年の 7 月からまた大学病院に戻ってきました。福井県済生会病院では、救急外来で当直・日直なども行っていました。その際外国人の患者さんが来ることもあり、英語で診察を行うこともありました。当然のようにうまく問診・診察ができず、さらに相手の言っていることもよくわからず困惑するばかりでした。なんとかしなくちゃいけないなあと思いつながら、でも中々難しいなあと思っていたところに今回のニューヨーク研修の話を知り、応募しました。

この研修プログラムに参加したのは、僕ともう 1 人の 2 年目の研修医と、金沢大学医学部医学科の 5 年生 8 人、合計 10 名でした。

日程は 2015 年 8 月 16 日から 8 月 29 日までの 14 日間で、行きと帰りの飛行機移動があるため、ニューヨーク滞在日数は実質 11 日間です。飛行機は成田空港から JFK 空港まで大体 13 時間程で、日本とニューヨークの時差は 13 時間で、日本が朝 9 時だとニューヨークは夜 8 時です。

費用ですが、現地のホテル代が約 2000 ドル、研修費が約 1100 ドル、その他雑費が約 300 ドル、現地での滞在費が自分の場合約 1000 ドルだったので、合計 4400 ドル程かかりました。この内ホテル代約 2000 ドルと研修費約 400 ドルの合計約 2400 ドルの補助が石川県からあったので、実質かかったお金は  $4400-2400=2000$  ドル程でした。

研修の内容についてはニューヨークに行くまでどんなものかわかっていませんでした。実際には以下の①英語研修、②医療面接、③診療所見学、④病院・研究所見学の 4 つを軸としたものでした。

①の英語研修は、Pace University の医学英語講座を受講するというものです。僕ら 10 人のみに対して医学英語専門の先生が講義をしてくださいました。ただの座学というものでもなく、例えば病気の名前を一人一つ紙に書き箱に集めます。選ばれた一人がそのうちの一枚を引きます。その人はその病気の患者役となり、残りの 9 人がその人に yes/no で答えられる質問をし、その病気を当てるというゲームをしたりしました。

②の医療面接は、講義を元に、実際に現地のプロの模擬患者さんを相手に問診、身体診察など一連の診察の流れを英語で行うというものです。現地の模擬患者さんは中国系・黒人・白人・メキシコ系など多彩で、それぞれ訛りがあり、しかもしゃべる速度がものすごく速いという中、しっかり聞き取り・質問しなくてはならないというなかなかハードな実習でした。

③の診療所見学は、ニューヨークで開業している先生の診療を、一日を通して見学・実習させていただくものです。中々見られない実際の診療を見て、日本との保険制度の違いなども実感し、とてもいい経験になりました。

④の病院・研究所見学は、Queens Hospital の循環器内科・救急を訪問し、実際の臨床現場を見学させていただいたり、Cornell University で小児癌の研究をしている先生を訪問しお話を伺ったりしました。さらに、Mt.Sinai Medical School の医学生に Medical school を見学させていただいたり、Mt.Sinai Hospital の研究所で脳神経の研究をしている先生を訪問しお話を伺ったりと、色々な病院・研究所を見学しました。

中々みっちり研修の日程が詰まっており忙しくはありますが、空いた時間を利用して、タイムズスクエアやセントラルパーク、ブロードウェイ、自由の女神、ワンワールドトレードセンター、アメリカ自然史博物館など色々な名所を巡る事もできました。

正直僕はあまり英語が得意ではなく、TOEFL や TOEIC などは受けていませんし、留学経験などありません。でもなんとかかなりまし、特に話すことが苦手だったのですが、研修を終えてからはしゃべるのが全く苦にならなくなりました。それだけでもとても有意義だったと思います。加えて英語での診察なども一通りできるようになりました。近年新幹線開業の効果か石川県でも外国人観光客や滞在者が非常に多くなっていると感じています。そういった中、自分が外国人の患者さんに接する機会もますます増えるだろうと思います。その際に今回の経験が活かせるものと考えています。

自分は将来心臓血管外科を志望しており、ゆくゆくは海外への留学にも興味を持っています。今回の研修ではニューヨークで実際に研究や臨床をされている日本人の先生などとも交流する機会があり、色々貴重なお話を聞

かせていただきました。

元々金沢大学には学生を対象にした海外研修はかなり前からあったようですが、研修医を対象としたものは今年が初めてだったそうです。学生が研修に行くのと、研修医が業務の一環として海外研修に行くのは大きく意味合いが違います。帰国した翌日からすぐに活かせる知識や経験が身につきますし、それがよくわかっている分より積極的に研修に参加できます。全体としてとても有意義な研修であったことは確かですので、可能であれば現在の研修医1年目の方々や未来の金沢大学の研修医達に是非この研修への参加をおすすめします。

今回は貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

